

「健康しが」活動創出支援事業 助成対象団体一覧

No.	団体等名称	事業区分	事業タイトル	事業計画概要
1	里山を守り生かす会	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	県立大多賀木匠塾と協働した林道沿線の林遊エリア創造と整備	県が推進しているやまの健康事業により、区有林道沿いの間伐を行い、併せて伐採した木を搬出することで林道周辺を明るくし、利用者が気持ちよく散歩できる道を整備している。搬出間伐により整備した区域を活用し、森林と触れ合う拠点となる「林遊」エリアを整備することでより多くの方に森林に親しんでいただける場を整備する。林遊エリア内にはツリーハウス、休憩スペースなどを整備し林遊エリア周辺ではキャンプ場の整備を進める。こうした施設の整備によって、都会ではなかなか味わえない森林とのふれあいを求めて来られる多くの地域、広い世代の方々に森林空間の魅力を感じていただき、自然の中に身を置くことによる森林浴効果でストレス解消、非日常の自然体験によるメンタルヘルス向上を図る。本事業を活用させていただくことにより、林遊エリアの中核施設となるツリーハウス、建築等を主に推進したい。建築の実行体制としては、滋賀県立大学の環境建築デザイン学科の学生で構成される多賀木匠塾の協力を取り付けており、万全を期したものにしている。また、この事業を協働することで地域住民と学生との交流を深め長く良い関係が築けるよう配慮していく。
2	一般社団法人 笑縁プロジェクト	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	あおぞら寺子屋プロジェクト「笑家尊塾」	誰もが気軽に立ち寄れる場所で、行けば誰かがいる、誰かが何かをしているそんな場づくりプロジェクトを実施する。自然に交流が生まれやりたいことをやりたい人ができる、社会の中での役割を自認できる、そんな心身共に健康で豊かな日常を送るきっかけづくりと習慣定着を目指すことで健康寿命の延伸と生きがいを感じられる地域づくりを目指す。活動を通してつながったネットワークが有事の際に大きな役割を果たすことを願って活動をすすめていく。
3	一般社団法人 比良里山クラブ	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	里山でボラ活、健康な仲間づくり「比良スタイル」事業（ボラ活＝ボランティア活動）	比良里山クラブが活動の拠点とする大津市比良地区の里山や琵琶湖を本事業のフィールドに設定し、これまで実績のある環境保全活動や赤しそ栽培を主とした農業体験などを通じて、地域の教育機関、観光協会、商工会、福祉関連事業所と連携し、分け隔てなく誰もが共に参加できる「バリアフリーのボランティア活動」を通じて「健康なまちづくり」を進めるためのネットワークづくりを行う。二年目以降はさらに横展開し、リタイア層やシルバー層の特技や労働意欲を活かせる場や、社会参加し辛い人々と地域事業者とのマッチングの場となる「働く力を応援するステーション」を同地に実現し、農福連携はもとより産・学・環境との接点も増やし心身共に健康的な地域民の充実を深めていく。
4	くわくわ企画. co	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	生について真剣に考える遊び場発信秘密基地！”BASE CAMP KUWA-KUWA(仮)”創出計画	本事業では、稲枝地区内の古民家（代表の旧実家）を改修し、地域住民がくわくわとした気持ちで医療・福祉に触れられる機会や場を創出するための諸活動を行っていきます。事業に使用予定の古民家はすでに一室を改修し、町内の高齢者が集うサロンとして運営しています（稲枝地区高齢者サロン「集（つどい）」）。今後、残りの空き居住スペースを学生（大学生・看護学生等）が廉価で住めるシェアハウスとし、入居した学生とともにDIYによって順次改修していきます。その後、入居となる学生たちが自ら改修、空間づくりに関わることで、「住むこと」「暮らすこと」の価値観を深掘りし、最終的に上記の診療所計画に必要なビジョン・ミッションを実現していける文化の醸成を目指します。さらに、継続的に学生が集う空間としてのCO-DIYスペース、地域健康教室やマルシェの運営を行う場など、新たな診療所を創り上げていく場としても活用します。こうして地域に根ざした事業を総合的にやっていくことにより、地域住民がより自然にいきいきと医療・福祉、ひいては「生」に触れられる場を提供していく組織に成長するようつなげていきます。
5	コスモスの会	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	居場所カフェから始める暮らしの保健室～フットケアを中心に～	多くの人が行きかう場所という立地条件を生かし、ふらっと立ち寄れて気軽に健康、フットケア、子育て等に関する相談が受けられるスペースを居場所、コミュニティカフェの中に設けて介護予防につなげ、多世代の人々の孤立化を防ぐ取り組みをする。
6	立命館大学BKCSスポーツ健康 コモンズ運営委員会	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	3つの健康を実現する！多世代向け出張コーディネーショントレーニング教室～身体が健康！～	立命館大学で研究/開発/実施され、多世代と一緒に参加できるコーディネーショントレーニング教室を、地域に赴く出張形式で実施することによって、以下の3つの健康を実現する。 ①身体が健康：教室を通して運動の楽しさや気づき、また身体の基本的能力であるコーディネーションを自覚することで、各個人にあった段階での運動を考えることができる。そうした身体を動かすことを通じて、健康を実現する。 ②家族で健康：子どもだけでなく、普段は見守りに定めている親や祖父母も一緒に教室に参加することで、家族間の交流機会を促進するとともに、運動を通じた良好な家族関係の構築と家族みんなの心身の健康の実現化を図る。 ③地域が健康：教室が、同年代の子を持つ親同士、および一緒に遊ぶことができる子ども同士の出会いの場となり、運動を通じた地域コミュニティ形成の機会となることで、地域の健康を実現する。
7	合同会社集楽	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	ヘルス&ワーク倶楽部	対象者事業利用者介護保険の認定を受けた方や「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」の方を中心に65歳未満の市民を対象にします。フレイルの状態にある方が集まり、お店の業務の一部を無償・有償で請け負い、②買い物サポート。③近隣の「リハビリ」の学校と連携し、基礎体力や運動教室を開催。
8	一般社団法人 まちづくり石寺	① 滋賀の魅力ある地域資源を活用した取組	里地・里山・里湖の地域資源を活かした健康づくり推進事業の創出	彦根市石寺町は、里湖（琵琶湖）に隣接し、里地（集落・農地）、里山（荒神山）を有した集落です。町内外では、この滋賀県ならではの環境・地域資源を活かした様々な団体の様々な取り組みが行われていますが、少子高齢化で活動継続が困難な状況にあります。そこで本事業では、これらの団体の活動を「健康づくり」という視点で連携・再構築し、互いの活動を補完し、相乗効果を生み出し継続的な健康づくり事業の創出を図ります。具体的には、荒神山のウォーキング団体、里山整備団体、地麦酒醸造所、農業団体、集落での古民家活用団体、健康づくり団体、湖でのカヤック利用者や景観づくりの実践者などとの連携を図ります。本年度は、各団体が利用する拠点を整備するとともに、各団体のフィールドや健康づくりプログラムの整備を行います。特に県立大学に近いことを活かして、コロナ禍で疲弊した学生の活動を支援します。これらの活動を通じて、次年度のからの持続可能な事業展開を目指します。
9	Since	② 地域住民や参加者の交流を促し、地域づくり、ネットワークづくりに資する取組	滋賀県における包括的な学校に行っていない子どもたちの支援	滋賀県域における不登校の子どもたちの支援活動を行う。学校に行っていない小・中・高校生を中心に、子どもたちの居場所を設け、心身ともに健康な状態を目指す。居場所において、人との関わりをなかて【①自己肯定感の醸成】及び【②孤独感の解消】を目標とし、子どもたちの心が健全かつ豊かである状態を目指す。さらに、居場所の開催時間や活動内容を工夫することで、【③生活リズムの維持】及び【④運動機軸の確保】を担い、子どもたちの身体的な健康の確保にも注力する。各NPO法人やフリースクール、不登校保護者の会などと連携・協力を行う。子どもを中心に多角的な視点から個人へのアプローチを試みる。